第１部 第1編

第1章

民主社会の基本原理

教科書p.6～22➡

**１　政治と法（教科書p.6～7）**

**exerciseの解答例（p.7）**

**政治と支配はどのような関係にあるのか，30字程度でまとめてみよう。**

政治における利害をめぐる対立を抑制するために支配がともなう。

**２　民主政治と人権保障の発展（教科書p.8～12）**

**exerciseの解答例（p.12）**

**ホッブズ・ロック・ルソーの社会契約説の特徴を，それぞれ50字程度でまとめてみよう。**

ホッブズ…人間は，自然状態のもとでは戦争状態におちいる。これを逃れるため，契約によって自然権を国家に譲渡する。

ロック…自然状態における人間は自由で平等である。この状態を確実なものとするため，契約を結んで国家を作り，政府に自然権を信託する。

ルソー…人間は本来，自由・平等であったが，私有財産制により，この状態が保てなくなるため，契約を結んで社会を作り，これに譲渡する。

**３　国民主権と民主主義の発展（教科書p.13～15）**

**exerciseの解答例（p.15）**

**多数決の短所と長所にはどのようなものがあるだろうか。それぞれ50字程度でまとめてみよう。**

短所…多数による判断は少数意見を無視し，少数者の権利を軽んじて侵害してしまうことにつながりかねない。

長所…多くの人の意見が尊重されるため，公平感が強くなる。また，意思決定を迅速におこなうことが可能となる。

**４　世界の政治体制（教科書p.16～22）**

**Check！の解答例（p.17）**

**立法府と行政府の関係にどのような違いがあるか，図2と図3を比べてみよう。**

議院内閣制においては，立法府と行政府が解散／信任に関係にあり，首相は立法府多数派の支持を背景に強力なリーダーシップを発揮することができる。一方，大統領制においては，行政府は立法府に教書を送付しまたは法案拒否権によって影響力を保持するにとどまり，弾劾などを除いて立法府による大統領の解任が想定されておらず，大統領もしくは議会多数派のリーダーシップを抑制することによって権力の均衡をはかっている。

**exerciseの解答例（p.20）**

**議院内閣制と大統領制について，それぞれの長所と短所を50字程度でまとめてみよう。**

●議院内閣制

長所…議会の信任を背景に内閣が政権運営をするため安定する。また，議会の方針に首相が背いた場合，不信任決議で解任させられる。

短所…国民が直接首相を選ぶことができない。政権交代が頻繁に起こることがあり，政治が停滞する恐れがある。

●大統領制

長所…国民の直接選挙で選ばれるため，民意が反映されやすい。途中で解任されることがないので強力なリーダーシップが発揮できる。

短所…任期の途中で解任できないため，国民の支持を失ったり，人権を抑圧するような政治をしても政権運営を担い続けることになる。

**exerciseの解答例（p.22）**

**熟議における意思決定の正統性を保つには，どのような配慮が必要だろうか。参加者の選定方法，話し合いに臨む姿勢・態度，参加者間の関係性，最終的な決定方法などの観点から考えてみよう。**

誰でも参加できること（一部の人を正当な理由なく排除しないこと）／相手を否定する攻撃的な態度や意見を聞き入れようとしない態度をとらないこと／参加者が平等に意見を述べ，疑問を呈することができること／参加者全員が意思表明をおこないやすくなるように運用ルールを見直す機会をもつこと，など